審査請求を成功させよう
2014年　5月16日　14号

生活保護制度を良くする会
ニュース

事務局　道生連
電話　011-736-1722
ファックス　011-736-1688
メール　seihoyokusurukai@herb.ocn.ne.jp

2014年度の審査請求、札幌集会で848件、全道で1100件提出！

「かでる2・7」で行われた札幌集会には、函館、岩見沢、釧路、石狩、富良野から169人が参加。江別、小樽、旭川、苫小牧、北見が地元で提出行動。

3人の請求人が保護費の引き下げの影響を訴える

札幌集会は、「生活保護制度を良くする会」の肘井博行共同代表の「生活保護での生活は、こんなに大変だ！とリアルに訴えていくことで、国民の共感を作りだしましょう」との呼びかけで始まりました。

続いて、審査請求人を代表して3人が訴えました（写真上）。「9才の娘はソロバンの先生になることが夢でしたが、塾をやめざるを得ませんでした」（伊賀理香子さん・51才　中央区）、「8月の引き下げに続き冬期加算も下がったのに光熱費全般が値上がりし、徐々に生活を圧迫してきました」（的場裕樹さん・29才　北区）、「食事は1日3回から2回に、入浴は週2回から1回に。身内の冠婚葬祭にも出れません」（渡辺澄子さん・70才　厚別区）

また、3人から激励を受けました。「生活保護を受けることで、求職活動や将来に希望が持てるようになり、前向きに生きれるようになりました」（山中啓史さん・元生保利用者）、「年金引き下げ中止の審査請求を行いました。今後も一緒に頑張りましょう」（渡部務・年金者組合道本部委員長）、「消費税大増税に対して、いのちとくらしを守るために一緒に奮闘しましょう」（池田法仁・北商連事務局長）

「引き下げはやめ、元に戻して」―思いを伝えて提出

請求書の提出では、自分で提出したいという請求人が列をなし、一言述べて次々と提出しました（写真下）。

三浦誠一・道生連会長が行動提起を行ない、出口憲次・道労連事務局長の「3人の請求人の訴えを聞いて怒りを覚えました。今、健康で文化的な生活とは何かが問われています。一緒に“生存権を守れ！”の運動を斗っていきましょう」との閉会のあいさつで集会を終えました。